

技能オリンピックをめざして

オリンピックといえば、昨年開催された東京オリンピックのようなスポーツの祭典をイメージすると思いますが、「技能五輪（ぎのうごりん）」と呼ばれる技能・技術を競うためのオリンピックもあります。

技能五輪は、機械や電気・電子、情報通信関係からサービス・ファッション分野の42職種において、自身の持つ技能・技術を競う大会です。全国大会が毎年、国際大会が隔年で開催される、国家の技能・技術水準を世界に示すレベルの高い大会となっています。

IPCでは、知識と技能・技術を身に付け地元企業で活躍する人材を育成するために、今年も技能五輪の「情報ネットワーク施工」職種へ電子情報技術科2年生2人が挑戦します。この職種はインターネットやオンライン授業をおこなう上で必要となるLANケーブルや光ファイバの施工と保守などの通信工事に関わる技能・技術を競います。

昨年度は、全国大会の学生予選会を見事に勝ち抜き、初めて石川県代表として全国大会へ出場しました。出場した学生はその後、北陸職業能力開発短期大学校の応用課程に進学して、さらなる技能・技術の習得に励んでいます。

今年度挑戦する2人は、今月末に開催する全国大会の学生予選会へ向けて、公表されている課題に必要な基礎的な技術を身につけるために、LANケーブル

のプラグ作成や光ファイバの融着の技能習得に日々取り組んでいます。この課題は作業の正確さやスピードと合わせて品質も求められるため、高い技能・技術が求められます。そのため、習得過程で職業人として必要な人間力を大きく高めることができ、精神的な面でも成長することが期待できます。

このようにIPCの学生は、世の中を支えている技能・技術を学ぶことで、みなさまに信頼される技術者になるべく、目標に向かって日々技能・技術を磨き精進していますので、今後も温かく見守ってください。

